

■特集	都市計画道路小立野旭町線の完成	…1
■	あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
	羽咋市にぎわい交流拠点 起工式	…3
	木場潟公園東園地の整備	…4
■	センターだより	…5

特集

都市計画道路小立野旭町線の完成

1 はじめに

都市計画道路小立野旭町線は、都市計画道路小立野線と山側環状を繋ぎ、金沢大学工学部跡地に整備された県立図書館と金沢美術工芸大学へのアクセス向上を図ることを目的として計画された道路です。

このうち小立野線から図書館前までの区間については、令和4年7月の図書館開館に合わせ供用しました。



▲広域図



▲金沢大学工学部跡地(平成 29 年 4 月)



▲(都)小立野旭町線完成(令和 5 年 8 月)

また、残りの区間である図書館から山側環状方面については、金沢美術工芸大学の開校前の8月に完成しました。従来、すれ違いの困難な住宅街の細い道路を通っていましたが、バイパス区間の整備により、山側環状から図書館へのダイレクトなアクセスが可能となりました。

2 事業概要

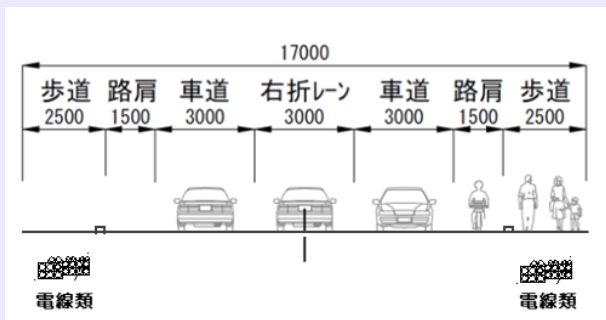
路線名：都市計画道路 小立野旭町線

事業箇所：金沢市小立野2丁目 地内

事業期間：平成29年度～令和5年度

延長：507m

幅員：9.0(17.0)m



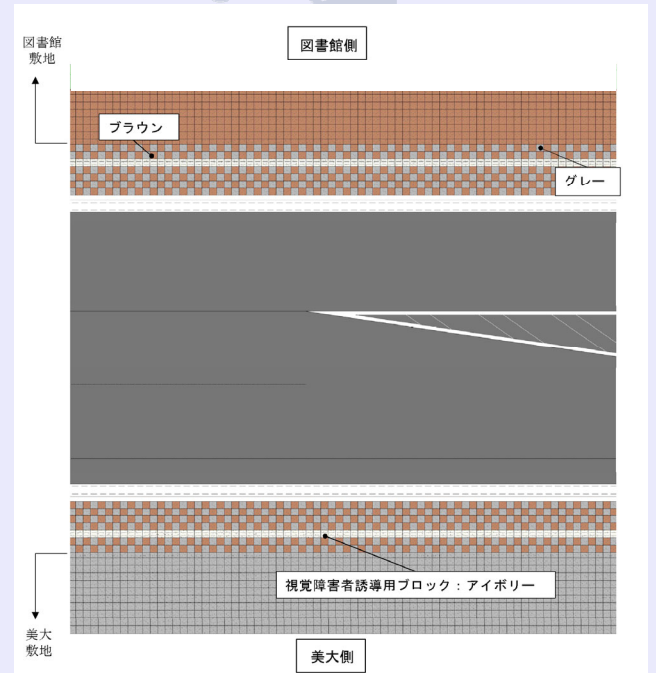
▲標準断面図

3 整備内容

本道路は、図書館や金沢美術工芸大学といった文教施設へのアクセス道路となることから、整備にあたっては、図書館前面の屋外広場等と一体的な空間を創出するため、使用する歩道舗装の素材や色彩について、統一感を持たせるように配慮しました。

歩道舗装のデザインは図書館の外壁タイルの配置で採用された市松模様とし、舗装色は図書館の敷地内で採用したブラウンと金沢美術工芸大学で採用したグレーの2色を配色し、両施設の色調と調和させました。

また、図書館の外観は、大型パネルとガラス面が交互に折り重なって、「本のページをめくる」というイメージを表現しており、電柱や電線が図書館の特徴的な外観を阻害しないよう、道路整備に合わせて無電柱化の整備も行いました。



▲歩道舗装のデザイン

4 おわりに

本道路の整備により、県土の太い背骨を形成する山側環状から、図書館や金沢美術工芸大学へのスムーズなアクセスが可能となり、能登や加賀の県内各地からお越しになる方々の利便性が大きく向上するとともに、市街地における安全で円滑な交通が図られ、今後、文教地区として益々賑わいが出てくることを期待しています。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げます。



▲開通状況

【問い合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1758

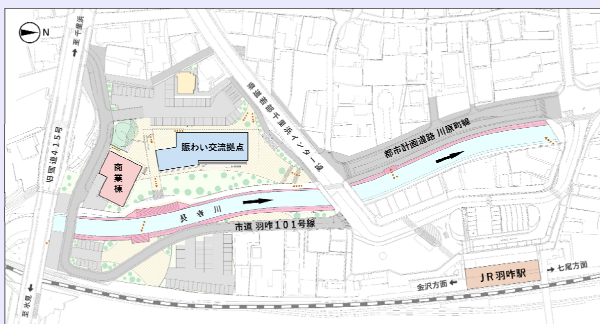
E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

羽咋市にぎわい交流拠点 起工式

1 はじめに

羽咋市では、「輝くはくい」の実現に向け、市の玄関口の一つであるJR羽咋駅周辺の整備を進めています。

駅に隣接する商業施設跡地を活用して整備する、「羽咋市にぎわい交流拠点（愛称：Lakunaはくい）」を核として、市道羽咋101号線や都市計画道路川原町線に加え、県事業の都市計画道路南通り線、二級河川長者川を整備することにより、「駅」・「かわ」・「まち」が一体となった良好な空間を形成し、羽咋駅周辺と市全体の賑わい創出を図るものです。



▲羽咋駅周辺整備位置図

2 施設概要

Lakuna はくいは、鉄骨造4階建の施設で、「羽咋の未来をともし、集い、ふれあう、新たな賑わい交流拠点」を基本コンセプトとしています。屋外は河川と緑の広場を活かした親水空間とし、1階にカフェを楽しみながらゆったり過ごせる“図書カフェ・学習スペース”を設けます。2階には北陸初のバンク遊具を中心に誰もが楽しめる“屋内公園”を整備し、3・4階は多種多様な使い方ができるようにeスポーツスタジオやアートスタジオ、シェアキッチン、多目的ルーム、多目的ホールなどの機能を備えた“シェアスペース”としています。



▲Lakuna はくいはくい完成イメージ



▲図書カフェ・学習スペースイメージ



▲屋内公園イメージ

3 起工式

本年3月1日には、国や県をはじめ多数の関係者ご列席のもと、Lakuna はくいはくいの建築工事に係る地鎮祭及び起工式が執り行われました。



▲起工式 鍬入れの様子

4 おわりに

Lakuna はくいは、来年7月頃のオープンを目指しています。整備により、多様な世代の方々の交流の場となり、加えて併設する商業施設や近隣の商店街における消費活動が促進され、地域経済の活性化及び駅周辺の賑わい創出へとつながることを期待しています。

【問合わせ先】

羽咋市産業建設部都市づくり推進室

TEL:0767-22-9645

E-mail: toshidukuri@city.hakuui.lg.jp

木場潟公園東園地の整備

1 はじめに

木場潟公園は、県内で唯一自然のままの姿で残された潟の環境と優れた水郷景観を有し、県民の憩いの場として、年間約80万人もの利用者で賑わう南加賀を代表する都市公園となっています。これまでの水郷に里山の魅力を加え、公園のさらなる魅力向上と一層の利用促進を図るため、新たに「東園地」を整備し、令和5年4月23日にオープンしました。

2 事業概要

東園地は、里山を「学び」「遊び」「体験」できる「新たな里山再生のモデル」となる公園を目指して整備しました。園内には、里山交流ハウス、農業体験ハウス、里山資源再生ハウスの3つの拠点建物などが備えられ、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるよう、里山の恵みや再生可能エネルギーを活用した体験学習プログラムを用意するとともに散策や遊びの場として利用できる公園です。



▲ 東園地全景

3 施設の特徴

里山交流ハウスは、東園地の拠点施設であり、学習やイベント、休憩の場等として、里山の魅力を発信しています。約150～200人を収容できる多目的ルームのほか、園内で育てた野菜を使ったスムージー等を提供するカフェ、足湯を備えた休憩スペースがあります。建物内部は、県産の能登ヒバや日用スギを活用した温かみのある空間となっており、また、壁面にガラスを多用した明るく開放的な空間となっています。

農業体験ハウスは、地下水・温泉水を活用した冷暖房装置を導入し、トマトをはじめ、ベビーリーフ、エアリーフロラが栽培されており、年間を通して収穫体験を楽しむことができます。さらに、さまざまな再生可能エネルギーを活用した栽培技術などの解説・展示を行っています。

里山資源再生ハウスでは、園内の里山再生活動で発生した間伐材を暖房に利用するために、チップやペレット燃料に加工する過程を見学し、資源の循環について学習することができます。年間約4トンのペレット燃料を作り、里山交流ハウスのペレットストーブや、農業体験ハウスのバイオマス暖房機の燃料に使うこととしています。



▲ (上)里山交流ハウスレストルーム
(左)トマト収穫体験 (右)里山資源再生ハウス

4 おわりに

東園地では、子どもたちをはじめ、多くの方にお越しいただける公園として親しんでいただけるよう、愛称の募集を行ったところ、全国から応募があり、「木場潟さとしるべ」に決定しました。今後は、この愛称を広く周知するとともに、より一層の利用者拡大に取り組んでまいります。

【問合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL:076-225-1772

E-mail:e251800a@pref.ishikawa.lg.jp

センターだより

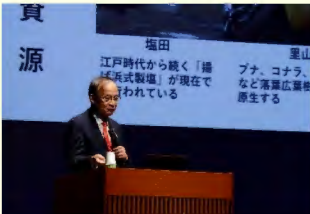
いしかわまちづくり技術センターでは、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。
ここでは、サポート内容についてご紹介します。

まちづくりの啓発や普及をサポート

○街並み・まちづくりシンポジウム

まちづくりに関する「意識の高揚」、「普及と参画促進」、「きっかけづくり」などを目的に、最新のまちづくりに関する話題や課題等をテーマとしたシンポジウムを開催しています。

今年度は、10月29日（日）に「まちづくりシンポジウム in かほく」を開催します。当日の様子は次号で詳しくご紹介します。



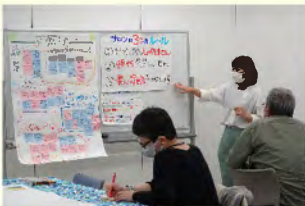
▲ 基調講演



▲ パネルディスカッション

○まちづくり専門家の派遣

住民団体や協議会が実施する、まちづくりに関する講習会や勉強会にまちづくりの専門家（アドバイザー）を派遣し、まちづくり活動を支援しています。当センターでは、専門家の旅費・謝金を助成しています。



▲ まちづくり専門家の派遣



まちせんくん



まちづくりに関する様々な
情報を発信しています。



住民主体のまちづくり活動をサポート

○いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

将来の地域のリーダーとなる子どもたちと共に
行うまちづくり活動（まちづくり学習）を支援して
います。今年度は、6件の活動に助成します。

○我（和）がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）

“元気な住民と元気なまち”をつくりだすための
まちづくり活動を支援しています。今年度は、6件
の活動に助成します。



▲ いしかわこどもの未来創造
まちづくり事業



▲ 我（和）がまちづくり（いしかわ
地域の魅力創造まちづくり事業）

○まちづくりリーダー研修会

活動支援を行った団体の報告会を行います。地域
で頑張る皆様の生の声が聞け、他の活動から学べる
ことが沢山あります。来年2月に開催する予定で
ますので、是非ご参加ください。



▲ 会場のようす



▲ 活動報告（上）
パネルディスカッション（下）

編集後記

今回は、（都）小立野旭町線の完成について特集しました。県内各地から多くの人が訪れる県立図書館や、移転予定の金沢美術工芸大学へのアクセス向上により、文教地区としての益々の賑わい創出が期待されますね。

当センターでは、皆さまのまちづくり活動を支援するとともに、まちづくりに関する情報発信に努めています。是非、お気軽にお問い合わせください。

編集協力：石川県（都市計画課、公園緑地課）、羽咋市
発行：公益財団法人 いしかわまちづくり技術センター
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606
HP：<https://www.machisen.jp/>
発行日：令和5年9月